

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 国連は、どのようなもので、どんな働きをしているのか調べよう </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか視点が定まらないグループには、教科書を参考にさせてみる。 	教科書
見 通 す	2. 自分たちの立場に必要な情報は何かを考え、調べる項目ごとに分担を決める。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・項目について質問し、内容が本当に理解できていないことを認識させる。 	
課 題 追 究	3. 各自の分担により、調べ活動に入る。 【国際交流関係】 ・文化、スポーツ交流 ・技術援助（農・工業） ・異文化理解 【国際連合関係】 ・総会 ・安全保障理事会 ・ユニセフ ・ユネスコ ・WHO ・世界平和 ・国際理解と協力	75	<ul style="list-style-type: none"> ・資料として使えそうなものを教室に置いておく。 ・資料カードの使い方を教える。 ・難しい用語をそのまま使っている児童には、その意味を聞き、理解を深めさせる。 ・項目ごとにまとめが進んでいる児童には、項目間のつながりについて質問してみる。 	辞典類 新聞 資料カード 書籍 等 模造紙 マジック トラベンアップ OHPシート 画用紙 等

その後、個人で集めた情報を持ち寄り、チームによる討議を経て立論する活動を2単位時間実施した。

(3) ディベート・マッチ授業の実際

ディベート・マッチの進め方には、様々な型がある。本研究の「ディベート学習」では、右記のような流れで実施した。なお、時間については児童の実態に応じて弾力的に設定すべきであろう。

次に『論戦^(註2)』の一部を紹介したい。

「ディベート学習」の流れ

肯定側立論…5分

否定側立論…5分

作戦タイム…5分

論 戦…15分

作戦タイム…2分

否定側結論…3分

肯定側結論…3分

判定・講評…5～7分

(註2) 一般的には『反戦』というが、賛否両論が自由に考えを述べ合い思考が深まるよう「論戦」とした。

テーマ「国連は、世界平和に役立っている」

※ ビデオをもとに児童の発言を要約、整理した。実際には、発言に詰まったりする場面も見られたが、意見の趣旨を忠実に再現した。

反対派：第二次世界大戦が終わってからも世界の14カ所で戦争が起きている、長いところでは、ベトナム戦争のように15年間も続いているので、国連は世界平和に役立っていないと思います。

さらに、大戦後、新しい兵器が作られているのを見ても世界平和には役立っていないと思います。

賛成派：国連は、世界の平和と国と国との争い事を話し合いによって解決したり、全ての独立国が平等の立場で発展することを進めたり、経済・社会・文化などいろいろな問題を解決し、人権と自由を尊重していく目的でできたので、国連は重要な働きをしていると思います。

反対派：国連の憲章には、今発表したようなことが書いてありますが、実際には、いろいろな戦争が起きていたり、貧富の差があり子どもたちが飢えているという事実があるので、国連は、世界平和に役立っていないと思います。

反対派：世界には次のような問題があります。アフリカでは、食料をもらうために大勢の人々が並んだり、飢えに苦しむ子どもたちがいます。また、国際自然保護連合の報告によれば、ブラジルを始め多くの国々で自然破壊が進んでいるそうです。これでは国連は世界平和に